

直接搬入ごみ・大型ごみ戸別収集 有料化スタート

ごみを減らす取り組み

にはま3Rネットワークを活用しよう！ 廃棄物対策課 ☎ 65-1252



本市のごみは、国や県の平均より約20%も多く、このままごみが減らない場合、適正なごみ処理の確保が困難になり、環境が悪化してしまうことが予測されます。

これを阻止し、未来の新居浜に良好な環境を引き継いでいくため、10月1日から家庭ごみの一部有料化を実施し、ごみの減量に改めて取り組んでいきます。

今回は、ごみの減量に有効な3Rの取り組みを紹介するとともに、有料化により購入してもらうことが必要となる処理券の取り扱い方法を紹介します。



廃棄物対策課 近藤

Reduce（リデュース）の取り組み

「微生物の力で ごみ減量！」 ～ 垣生小学校 ～

「給食での食べ残しがもったいない」「児童を対象とした環境教育・食育により、幼少期から持続可能な生活を意識するようになってほしい」。こうした声から今年度、垣生小学校では4年生が中心となり、給食の残り物など生ごみをたい肥化するダンボールコンポストに取り組んでいます。児童は最初、発酵のおいなどに困惑していましたが、早いときは1日で生ごみが分解される様子や、出来上がったたい肥を肥料として、学校の菜園で立派な野菜が育った様子に、今では興味津々で取り組んでいるそうです。令和5年2月に、ダンボールコンポストの取り組みの成果について、保護者に向けて発表会を行う予定です。



段ボールコンポストは誰でも、簡単に始めることができます！ 廃棄物対策課の窓口で販売していますので、是非、ご利用ください。公民館などでダンボールコンポスト講習会を開催中です。たい肥で育てた花や野菜は元気ですよ！



市 HP（ダンボールコンポスト）

Reuse（リユース）の取り組み

「まだ使える自転車を必要な人に届けたい」 ～ 西口自転車店 ～



「自転車を扱う者として、まだ手入れをすれば使えるのに捨てられてしまう自転車が忍びないんです」と西口征津雄さんは話します。新品の自転車を販売する傍ら、捨てるのはもったいないからと店舗に持ち込まれる自転車の手入れをして、中古自転車として販売するようになり、約65年がたちました。

「昔は何でも修理・手入れをして、物を長く使うのが当たり前でした。手入れをした中古自転車が買い取られて、次のオーナーのもとで活躍しているのを見るとうれしいですね。」と笑みがこぼれる西口さん。西口さんの手入れを受け、次の活躍の場を得た自転車はこれまで約7,800台に及びます。

持続可能な生活を体現している西口さん。皆さんも不要になった自転車を西口さんに託したり、西口さんが再生した自転車に乗ったりしてみませんか？

西口自転車店 松原町3番35号 ☎41-6748

Recycle（リサイクル）の取り組み

「金属製品を再利用ルートに乗せたい」 ～ 岡田金属（株） ～

「清掃センターで処理できない厚さ2mmを超える金属もリサイクルしていますので、捨てる前にぜひ、相談してください」と語る岡田泰敬さん。資源リサイクルに携わる市内の13事業者で構成する「新居浜資源リサイクル事業協同組合」の代表理事も務め、今回の家庭ごみ一部有料化も「市民が資源ごみをリサイクルに回すきっかけになり、ごみが減少するのではないのでしょうか」と肯定的にとらえています。「金属製品のリサイクルは、そのまま持続可能な社会につながっています」と資源リサイクルの意義を話し、今後も組合の事業者と連携し、金属製品のリサイクルに取り組んでいきたい考えです。



敷地内に回収ボックスが設置されています。プラスチックが付着している場合など、一部有料になることがありますので、ご連絡の上で金属製品を投入してください！

岡田金属（株） 松原町9番41号 ☎41-6717

対象物：金属製品

にはま3Rネットワーク

「市民・事業者・行政」の絆で取り組むごみ減量！

「にはま3Rネットワーク」とは、3Rに取り組む市民・事業者・市のつながりを意味し、市民の皆さんが「何を・どこに持って行けばいいか」を見える化することにより、ごみの処理が簡単かつ便利になる取り組みで、皆さんの身近に存在しています。例えば、牛乳パックや食品トレイ、ペットボトルなどの店頭回収に取り組んでいる市内スーパーです。買い物のついでに、いつでも店頭回収を利用することができます。

一緒に"3R"を進めましょう！



廃棄物対策課 佐々木



店頭回収の回収ボックス一例



この他にも、市内には不要になった物を引き取るリユースショップ・再生資源業者があります。「にはま3Rネットワーク」を活用し、簡単、便利にごみを減らしていきましょう！

<市内のリユースショップなど>



エコタウン新居浜西喜光地店
(ブックオフ・ハードオフ・オフハウス)
西喜光地町2-6
ブックオフ ☎ 31-6681
ハードオフ ☎ 31-6682
オフハウス ☎ 31-6683



セカンドストリート新居浜店
上泉町5-9 ☎ 40-7150



アゴラリユース東予(空間屋)
西の土居町二丁目11-9
☎ 080-6280-2364
▷地域や学校などと連携した制服のリユース活動をしています。

10月1日(土)から、清掃センター・最終処分場にごみを搬入するときは「搬入ごみ処理券」、大型ごみの戸別収集を利用するときは「大型ごみ処理券」が必要です。次のページで、ごみ処理券の使い方を紹介します。



廃棄物対策課 高須賀

ごみ処理券の使い方



ごみ処理券
使い方動画



ごみ処理券
販売所一覧

大型ごみ処理券の使い方 大型ごみ戸別収集で大型ごみを処分する場合

- ① 戸別収集専用ダイヤル（☎ 31-5300）に連絡し、収集の申し込みをする。



- ② 申し込み後、自宅に確認ハガキが届いたら、申し込み内容を確認してください。内容に誤り・変更などがある場合は、土、日、祝日を除く収集日の3日前までに、戸別収集受付専用ダイヤルに電話してください。

- ③ 収集日までに、スーパー、コンビニエンスストアなどで処理券を購入する。



※ 1枚 200円

注意

こちらの処理券を貼った大型ごみを、清掃センター、最終処分場へ持ち込むことはできません！

- ④ 処理券を購入後、処理券に氏名または受付番号と収集日を記入し、大型ごみ1点につき1枚を分かりやすい場所に貼り付けてください。



搬入ごみ処理券の使い方 清掃センター・最終処分場にごみを搬入する場合

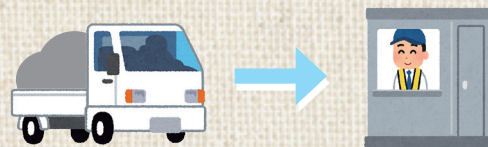
- ① 事前にスーパー、コンビニエンスストアなどで直接搬入専用のごみ処理券を購入する。



※ 1枚 500円
(50kgまで)
1回の搬入ごとに
購入が必要です。

※ 処理券を受付に渡す前に届出書に住所から車両番号まで記載しておいてください。

- ② ごみを施設（清掃センター、最終処分場）へ搬入し、処理券を受付に渡す。



- ③ ごみを搬入後、50kgを超えた場合は10kg超過ごとに100円の手数料がかかりますので、必ず現金をご用意ください。

